

迦葉山三世天山見亮大和尚開創 五百年の古寺 利根沼田横道三十三観音霊場 十八番札所

石尊山 観音寺

〒378-0074 群馬県沼田市下発知町332
TEL. 0278-23-9410
E-mail: info@kan-nonji.com
URL: <http://www.kan-nonji.com>

— 第 21 号 —

2019年1月1日 発行

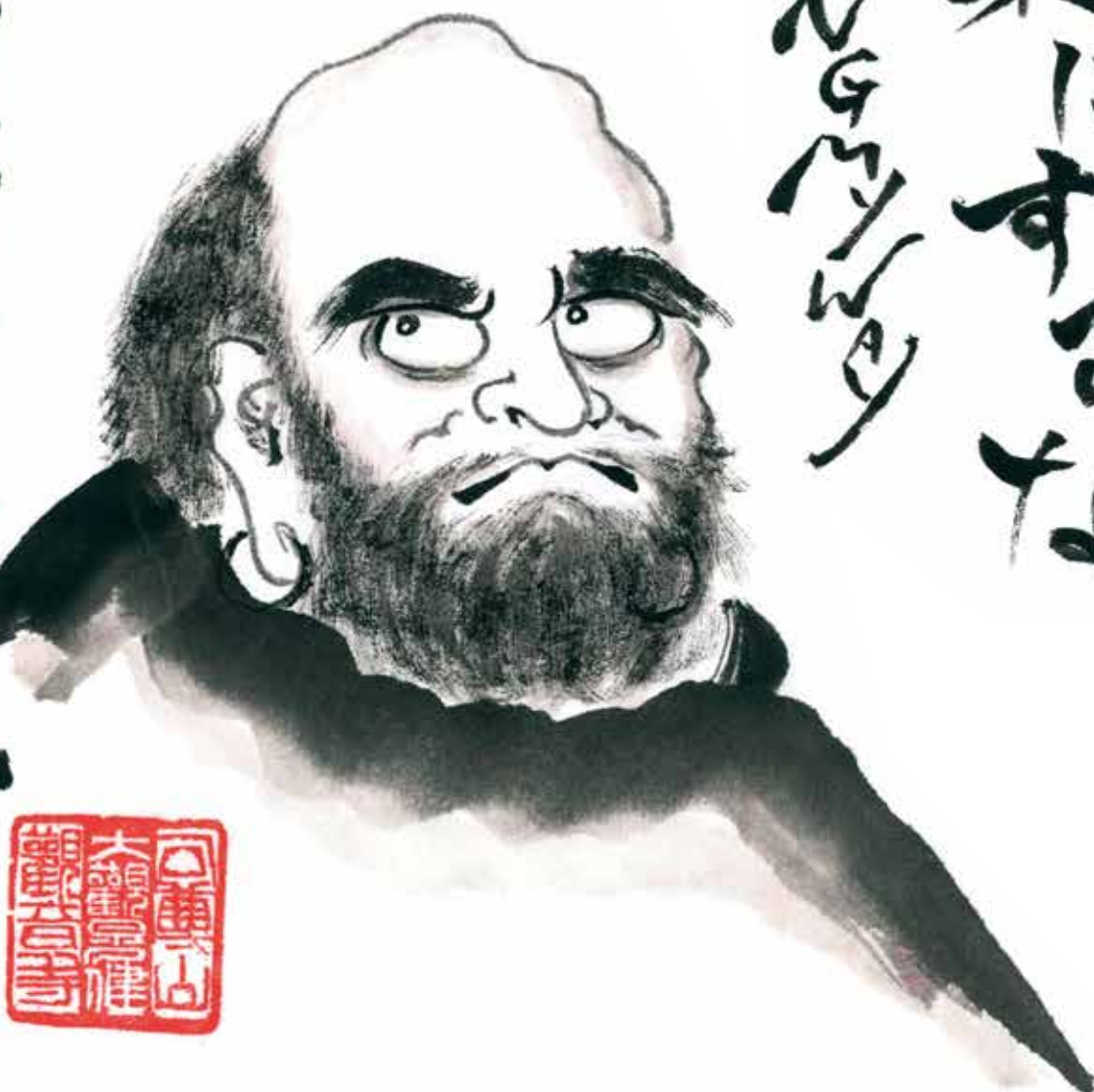
かんん

Kannon-ji Temple

上州沼田石尊山観音寺



気楽にするな
GON GON



ごあいさつ

住職 五十木 晃 健

いかるぎ こうけん

平成という時代が終わり、新たな元号を迎えるまでの一年間、観音寺には、私ひとりの手には余るほど、おおきな変化がいくつも訪れました。

ひとつには本堂の修復工事です。観音寺は二十年に一度、屋根のペンキの塗り替えをおこなっており、私が住職を務めてからはじめて、塗り替えの年を迎えました。

塗り替えには膨大な資金が必要で、檀家さんの協力があつてはじめて実現いたします。

夏に総代や役員の方々に相談して檀信徒総会をひらいていただき提案させていただきました。すると、ひとりの檀家さんが「本堂の屋根に穴が空いて、ご先祖様の頭に雨を降らせてしまうわけにはいかない」と後押ししてくださったのです。それが鶴の一声となつて、資金が集まり、地元の大工さんの協力によって、塗り替えだけでなく、傷んだ柱の修復、倉庫の

増設、本堂全体の修繕を行うことができました。

お寺にとってひとりの住職は、一過性の存在にすぎません。一方で、檀家さんは代々お寺を守り継いでくださっています。ですが、今回のように多大な協力が必要なとき、住職が日頃どれほど信頼できる行動をしているかによって、結果が変わってきます。住職就任以来のがんばりを見守ってください。また、変わらぬ観音寺を存続させることができるのだと思っています。

もうひとつは、御朱印です。一昨年からメディアで紹介していただく機会が増え、県内外問わず、御朱印を求めてたくさんの方が、足を運んでくださるようになりました。

交通の便が悪い観音寺にわざわざ足を運んでくださったからには喜んでもらいたい、という気持ちから、御朱印にイラストや文章を添えるように

なつたのです。

その結果、休日には二十人以上から三十人もの人が御朱印を求めて集まるようになりました。書き置きした紙をお渡しすることがほとんどですが、なかには直接御朱印帳に記帳を強くご希望される方もおり、受付順に書くために、二時間もお待ちせしめよう場合があります。

御朱印を求めにいらした方々のなかには、一度きりの訪問だけでなく、何度も足を運んでくださる方や、遠方からお手紙を送ってくださいる方もいて、嬉しいかぎりです。

とはいえ、私ひとりでは捌ききれないほどの需要が続いているため、観音寺がさらにおおきな器となる必要に駆られています。

ほかにも、檀家さんとの中国旅行、という初の試みをしました。

ほとんどの方がこの機会に

パスポートを取り直したため、「パスポートが切れるまでにまた行きたい」という声を多数いただき、さらに拡張した未来の観音寺への展望が、すこし見えた気がします。

こうして振り返ってみると、私が住職に就任したときには想像もできなかったことばかりです。

今年も皆様のお力添えをいただきながら、さらにたくさんの方へのやすらぎをお届けできるよう、精一杯努めてまいります。



●新年登山

元日に戸神山(石尊山)山頂で加藤喜久様の協力により、甘酒の振る舞いをさせていただきました。



▲山頂で甘酒を配る

●新年の年頭周り

一月四日(木)、新年の年頭周りをさせて頂きました。

●境内清掃

障害福祉サービス事業所アルモ二様に、一昨年から境内清掃をお願いしています。

六月から十一月の毎週木曜日にお願ひしています。

●托鉢を行いました

十二月七日(金)に托鉢をさせて頂きました。

観音寺の本堂が綺麗になりました

年を重ねるごとに観音寺本堂の痛みが激しくなり、本堂屋根の塗り直しや、本堂の一部改修を行うことが護持会により承認されました。

これにより屋根が綺麗になり、開山堂の改修と倉庫ができました。



▲屋根が塗り直された本堂



▲修繕中の本堂裏

八月～九月にかけて、本堂の屋根の塗り直しと、本堂の一部改修を行いました。
本堂内の椅子やストーブなどを置くスペースが必要になり、また、開山堂の痛みも激しく、護持会に相談したところ改修の承認を受け、この度の工事となった次第です。
綺麗になった観音寺に、人々の笑顔が集うことを考えると感謝にたえません。



▲修繕後完成した倉庫



▲修繕された開山堂

境内草刈り

毎年行われている観音寺境内の草刈りを檀信徒の皆様のご協力により八月五日(日)に行いました。

夏の一番暑い盛りにもかかわらず、一生懸命に境内の除草をしてくださる皆さんの姿に感動を覚えます。

これで八月十六日に行われるご先祖様の供養も気持ち良く開催することが出来ます。
参加して下さった皆様ありがとうございました。



3 ▲境内草刈りの様子

大般若祈禱会・施食会



▲角田二郎様に感謝状をお送りいたしました



▲護持会総会の様子

「大般若祈禱会」と「施食会」を、昨年も八月十六日(木)に行いました。

昨年は例年にない猛暑で、いつもは涼しい本堂もこの日は蒸し暑く、檀信徒の皆様も汗をぬぐいながらの参加となりました。

大般若祈禱会では、迫力の「転読」(経典をめくりながら陀羅尼を大きな声で唱える)により「無病息災」「家内安全」「心願成就」など世の人々の開運招福のため心を込めてご祈禱させていただきました。

また、「施食会」では、先祖代々の法要をさせて頂きました。

法要後は土地を寄付してくださった角田二郎様の表彰を行いました。

また、この日は檀信徒の皆様の多くがご集まりになるという事で、護持会の総会が同日行われました。



▲施食会

護持会の総会の内容としては会計報告や傷みの激しくなってきた本堂の塗り直しの提案や改修工事の検討などにかかる工事費用の検討など熱い議論が交わされました。

観音寺を想ってくださいる檀信徒の皆様がいてこそのお寺なのだ改めて感謝いたします。皆様ありがとうございました。

▼大般若祈禱会



観音寺では様々な

イベントを開催しています

毎年観音寺では、様々なイベントを開催しています。子供達の教室から、ラフターヨガイベントやコンサートまで様々な活動の場を提供しています。

昨年も北毛子供教室が観音寺で開催されました

十月六日(土)と十一月二十四日(土)に北毛子供教室が観音寺で開催されました。

十月には子供達に講話などをさせていただきました。また十一月には藁細工や新米を炊いて一緒に食べるというイベントを行いました。



▲第一回北毛子供教室



▲第二回北毛子供教室

場所は普段なじみのない場所です。もしかしたらとても怖い場所だとも思われがちです。そんな子供達に、お寺はもっと開かれたものだとということを感じていただきたいと、積極的に受け入れています。今年も子供達の笑顔が観音寺本堂にあふれました。

毎年行われているラフターヨガのイベントを開催

井上信子様、内山久井様をはじめとするラフターヨガの皆様が笑顔で集うイベントを昨年も観音寺で開催いたしました。

五月二十七日(日)に開催され、参加者は笑顔で交流し、その笑い声が本堂をはじめ境内や戸神山(石尊山)に響き渡りました。

また、いつも大変お世話になっている大堀龍明様による御朱印会も同時開催され、多くの人で賑わいました。御朱印の人気はすごいものです。私も当日は御朱印を書かせていただきました。

笑顔によって健康増進やストレスの解消は、日々ストレスに直面する現代人には必要な



▲御朱印を描く大堀さん

ことかもしれません。

観音寺では人々が笑顔で集うイベントを開催することで、人々の心の解放地としてのお寺を目指しています。ほほえみ十二観音様のご利益があつてのことだと今更ながら感謝する次第です。

旭アキラ&ブルークカスタム 観音寺コンサート

七月八日(日)に旭アキラ&ブルークカスタムのコンサートが一年に引き続き昨年も行われました。

なつかしのグループサウンズの名曲を中心に演奏され、参加者の皆さんには大変楽しんでいたかったです。

訪れていただく人々に、このような懐かしい音楽や元気の出る音楽イベントを開催することで、観音寺がより一層賑わうことを願っています。





▲戸神山(石尊山)の山頂で記念写真



▲ジュンマキ堂のミニコンサート



▲本堂での豆まき

戸神山(石尊山) 豆まき

二月三日(土)の節分に、第四回目となる「戸神山(石尊山)豆まき」と新年祈禱が行われました。

この日は晴天で、少し暑いくらいの陽気のなか、多くの皆様にお集まりいただき大変感謝しています。

ご祈禱の後、本堂での豆まきが盛大に行われ、昨年は花まつりや小学生戸神山登山でお世話になっている「ジュンマキ堂」の皆さんにもミニコンサートを行っていただき、また、豆まきにも参加していただきました。大変盛り上がりしました。

その後戸神山(石尊山)に登り山頂でもジュンマキ堂の皆さんにお手伝いいただき盛大に豆をまきました。何も遮るもののないパノラマの絶景のなか大変気持ちの良い時間を過ごすことができました。

ジュンマキ堂の皆さんは雪山の登山は初めてで、登るにも下るにも大変苦勞をされていたようです。

毎年開催できるのは戸神山(石尊山)登山愛好者の皆様のご協力があつて開催できます。大変感謝です。また、仲居祐紀様にもご協力いただき、冷えた身体を温めていただきたいと「あつらえ」様に暖かい料理を出していただきました。さらに昨年は、上毛新聞社が取材にみえ、新聞に掲載されました。



▲戸神山(石尊山)山頂で元気に豆をまく



▲花まつり参加者記念写真



▲献茶の様子



▲花まつり法要

石尊山 観音寺



お釈迦様の誕生を祝う「花まつり」を、昨年も例年通り四月八日の月遅れの五月八日(火)に行いました。例年、晴れの日に行いましたが、今年は小雨模様で上着がなくてはならないほどの肌寒い日になりました。

檀信徒の皆様をはじめ、地域の方々など多くの人々で賑わい、「花まつり法要」、「戸神山(石尊山)登山安全献茶祈願祭」を執り行い、お釈迦様の誕生を祝い、また、今年一年安全に登山できるよう祈願致しました。

また、山道を登つてくると一際大きな「観音力」と書いたしゃもじが目に入ると思いますが、これは総代長の阿部三郎様が寄進してくださったもので、開眼もこの日最初に執り行

いました。

法要後境内では「前橋ケーナサークル鳥と風」様によるコンサートや「男の料理教室有志」によるカレーの振る舞い。本堂では「茂野宗友社中」様のご協力によりお茶会なども行われました。

また、県議会議員の金井康夫様も参加してくださいと、挨拶をしてくださいました。演奏イベントも多く、フルート演奏「マザーズ・プラス・ワン」の皆様、ライアー演奏「音紡ぎの会」の皆様、本堂内で演奏をしていただき、美しいフルートやライアーの音色を参加者の皆様も楽しんでようです。

毎年の事ですが、参加してくださる方々のご協力によって開催することができ「花まつり」です。

観月音

かんげつね

九月二十四日(月)、第五回目となる「観月音(かんげつね)」を昨年も開催致しました。月を観て、音を楽しむイベントです。この日は日中は晴れていましたが、夕方になるにつれ雲が多くなり、登山開始時には曇り空になってしまい、せつかくの名月のなか戸神山(石尊山)に登ってのお月見会が叶いませんでした。

しかし、もう一つの大きなイベント「音を楽しむ観月音」はいつものように大盛況でした。戸神山(石尊山)から下山後、少しの休憩をはさみ、ソプラノ歌手「理寛寺尚子」様のコンサートが行われました。秋の本堂に美しい歌声が響き、登山の疲れを癒してくださいました。そして、今回で二回目の講演となるポップス尺八「すみれ」様の昭和の歌謡曲を尺八で演奏するコンサート。参加者の皆さんからリクエストをいただいていた演奏するというスタイルは奏者と観客が一体となった雰囲気で大変良いものです。また、すみれ様の師匠である「昌平」様も参加されました。やはり長年奏者として活躍されている昌平様の演奏は

大変素晴らしく、本物の尺八の音色に酔いしれるひと時でした。また、衆議院議員の上野宏史様も参加されご挨拶をいただきました。ありがとうございました。



▲ご挨拶をされる上野宏史様



▲ポップス尺八すみれ、昌平様ミニコンサート



▲元気に戸神山(石尊山)に向かう



▲理寛寺尚子様ミニコンサート

御朱印が結ぶ人との縁

日本各地から観音寺に来山

一昨年から観音寺では御朱印の記帳を行っておりますが、近年の御朱印ブームのためか、毎日のように観音寺に日本各地から多くの人々が訪れるようになりました。

一人の男性が観音寺の御朱印を求めて来山

昨今の御朱印ブームで観音寺にも毎日多くの人々が御朱印を求め来山してくれるようになりしました。県内はもとより県外からも訪れていただき大変感謝しております。

して良いかとのご連絡がありました。多くの名刹の御朱印が並ぶなか、観音寺を紹介してくださるなんて大変ありがたいことでした。

その観音寺の「御朱印ブー

それが株式会社ダイアプレス出版の「開運！御朱印手帳」

の本を何冊も出版されている方だったのです。

ム」が始まったのは一昨年に一人の男性が観音寺を訪れたことから始まりました。男性は全国の御朱印を集めているらしく、通りの看板を見つくと立ち寄ったとか。境内整備の途中ではありましたが、せっかく来ていただいたので心を込めて「観音力」の御朱印を記帳させていただきました。

するとその後、その男性から書籍で観音寺の御朱印を紹介

です。本の影響力は凄いもので、本を見て御朱印を求めに来山される方が増え話題になつてきました。そして株式会社笠倉出版社の「運がいい人は行っている全国パワースポット御朱印帳」に願いを叶える！古今東西、すごい御朱印だけ集めました。」にも掲載され、株式会社PHP研究所出版の「御朱印アートブック2」に掲載されると、一気に全国的に観

音寺の御朱印が広まり、今では毎日のように観音寺の御朱印を求めに、日本全国から多くの人々が訪れてくださるようになったのです。

その男性の名前は菊池洋明様。御朱印コレクターで御朱印の本を何冊も出版されている方だったのです。今の観音寺の御朱印があるのはこの方のおかげと言っても過言ではありません。菊池様が観音寺に来山されなければ、私が御朱印の記帳をしなれば、観音寺にこんなにも人々が訪れることはなかったでしょう。一期一会の人とのつながりは本当に大切なものです。菊池様改めてありがとうございます。

▼御朱印が並ぶ本堂



▲オリジナル御朱印帳

書き、初め大会

毎年行っている書道指導を昨年も行いました。特に薄根小学校と、池田小学校は大書き初めを体育館の中で行います。圧巻の大きな書は素晴らしい出来栄です。

大書き初めは、一月の寒さ厳しき日に体育館のなかで行われます。ですが児童たちは寒さにも気にせず元気に筆を走らせています。

ております。

ありがとうございました。

○一月九日(火)

沼田中学校書き初め

○一月十日(水)

沼田東小学校書き初め

○一月十一日(木)

池田小学校大書き初め

○一月十六日(火)

薄根小学校書き初め

○一月十九日(金)

薄根小学校大書き初め

○一月二十五日(木)

利根小学校書き初め

また、沼田中学校の生徒さんに書写指導を行っています。

○八月二十九日(水)

○八月三十一日(金)

○九月 四日(火)

○九月 十二日(水)

○九月 十三日(木)

一年分の元気を子供達からもらい大変感謝しています。また、大書き初めでは毎年河野太一住職にご協力をいただい



▲薄根小学校大書き初め



▲池田小学校大書き初め

中国旅行

昨年の十一月十七日(土)～二十日(火)に、中国の北京市に檀信徒の方のなかから有志をつのり観光と北京大学の金教授の講義を聞きに行っていました。

金教授によると、近代中国は毛沢東の文化大革命で宗教を否定され、のちの鄧小平の改革解放では逆に思考・宗教も解放されてしまったため邪教が蔓延ってしまった。そういう過程を経て現在は仏教、キリスト教、イスラム教など

五つの宗教が国から認められており、仏教は信徒が二億人を超え最大であるとのこと。

仏教寺院は政府管理下で増やしているがまた一万五千(日本は信徒五千七百万に対し六万五千寺)しかなく国民生活が豊かになり寄進がここに集中するために寺院経営はかなり余裕があるそうです。

しかし僧侶が不足しているため仏教大学を四十六校新設

しているが、剃髪得度してから受験しなければならず入学後の四年間の生活は厳しい修行のため卒業して住職になれるのは約半数だそうです。

今後の課題は急増する寺院、特に僧侶の質であり日本仏教の僧侶育成制度に学ぶことも必要との内容でした。

旅行の参加者をはじめ私も金教授の講義を聞き大変勉強になりました。

また、北京市街や郊外の観光も大変楽しく、充実した旅行となりました。



▲天安門広場で皆さんと記念写真

笑顔あふれる 山寺はチンドンの 音色とともに

小学生の戸神山登山

戸神山(石尊山)の小学生登山が昨年も行われました。

観音寺は子供達の休憩地とトイレの提供、そして元気に子供達に登っていただけるようなイベントを企画しています。

五月十六日(水)は沼田東小学



▲登山に向かう児童



▲本堂で食事をする児童

校の登山日。天気は晴れわたりの絶好の登山日となりました。本堂内で天国と地獄のお話を子供達に体験を通じてわかりやすくお話させていただきました。

五月二十三日(水)に行われた



▲本堂でのジュンマキ堂ミニコンサート

沼田池田小学校戸神山登山はあいにくの天気で、小雨模様のなか児童たちは雨具を身につけ戸神山に登って行きました。五月二十五日(金)は沼田北小学校の児童が来山しました。この日はジュンマキ堂様が児童たちの応援に駆けつけ、観音寺本堂でジュンマキ堂ライブが行われました。

山寺に響き渡るチンドンの音色と、子供達の大歓声はいつ聴いても心が晴れやかになります。子供達の笑顔が集う観音寺。この姿は私が追い求めた理想でした。この素晴らしい時間が毎年訪れることを願っています。

中・高校生が山寺修業体験

今回の山寺修行体験は、四月二日(月)・三日(火)に女子高生の二人組が来山、五月十七日(木)・十八(金)に取手市立取手第二中学校の生徒さんが来山し山寺修行体験を行いました。

本堂の清掃にはじまり、坐禅、写経などの様々な修業体験から、子供達が何か一つでも得るものがあれば良いですし、この体験が今後の彼らの人生の糧となってくれることを願っています。

各種講話を行いました

住職として、また、住職になる前の経験を活かした講話を行っています。今回は二月十八日(日)に保健福祉センターでの「働く仲間の集い」。四月二十九日(日)宮昌寺。六月十八日(月)池田小学校朝礼講話。八月八日(水)薄根わくわくスクール。十月四日(木)内田病院いきいき工房みんなの家で講話をさせていただきました。



▲池田小学校朝礼講話の様子



▲取手市立取手第二中学校



▲清掃をする体験者の二人

新年度役員のご紹介

総代長	阿部 三郎(下発知)	金子 陽一(戸 神)
総代	木樽 保夫(戸 神)	吉澤 民枝(戸 神)
総代	松井 敦夫(下発知)	会 計 松井 修一(下発知)
世話人	尾身 広志(下発知)	書記 角田二郎(下発知)
宮下 君子(下発知)		

平成三十年 ご寄付・ご奉仕お礼

献花沢山	角田 和子殿	マザーズ・プラス・ワン殿
	堀地 千香殿	音紡ぎの会殿
	小田 貴香殿	旭アキラ&ブルーカスタム殿
	小田 佳枝殿	理寛寺尚子殿
節分会お手伝い	仲居 祐紀殿	すみれ殿
戸神山(石尊山)愛好者の皆さん	昌平殿	ジュンマキ堂殿
お盆お手伝い	松井 桂子殿	境内草むしり・本堂清掃
花まつり大鍋		障害福祉サービス事業所アルモニ殿
セレモニーホール優花殿		順不同
花まつりお茶席支援協力		
茂野宗友社中 下発知町		
戸神山(石尊山)愛好者の皆さん		
家族葬ホールまごころ殿		
手作りカレー 男の料理教室有志		
お米 綿貫 勇殿		
修行体験手伝い		
戸神山(石尊山)愛好者の皆さん		
各種演奏		
前橋ケーナサークル鳥と風殿		

お借り致しました

道路拡張土地	佐藤 富二殿
案内板・のぼり旗設置場所	
松井 修一殿	阿部 春雄殿
松井 隆殿	松井 和幸殿
松井 康治殿	太田 延夫殿
沼北自動車殿	関上 和寿殿
下発知町	
樹木葬用道路用地	松井 元雄殿

その他、地域・檀信徒の皆様にはご協力頂きありがとうございます。紙上より厚く御礼申し上げます。

観音寺年間予定

一月四日……年頭廻礼
 二月三日……豆まき
 五月八日……花まつり
 八月上旬……境内清掃
 八月十六日……お盆施食会
 九月十六日……観月音
 十一月下旬……托鉢

奉納御礼

観音力の大しやもじ

観音寺本堂入口に「大しやもじ」が総代長の阿部三郎様より寄進されました。

花まつり法要の時に開眼を行い参加者の皆様にお披露目させて頂きました。観音寺にまた新しい名物ができ、大変喜ばしく、また、感謝申し上げます。「観音力」の言葉通り観音寺が力強く未来に向けて進む姿が目に見えます。

観月音を彩る生花

今年も九月二十四日(月)の観月音に、本堂を華やかに彩る生花を沢山の花々で彩っていただきました。観音寺でのお月見と、音楽の祭典にふさわしい花々に感謝にたえず、感動ひとしきりです。

堀地千春様、小田貴香様、小田佳枝様をはじめ皆様方昨年もありがとうございました。



▲観月音で飾られた生花



▲大しやもじ開眼の様子